

無線とWi-Fiの ケーブルテレビ業界の取り組み

2017年5月30日
一般社団法人日本ケーブルテレビ連盟
無線利活用委員会

無線利活用委員会

委員長 (株)ZTV 田村副社長

MVNO
プロジェクト

地域BWA
プロジェクト

Wi-Fi
プロジェクト

IoT推進
プロジェクト

無線利活用戦略実行の考え方

無線戦略の位置付け



戦略実行の考え方

自前のネットワーク・設備を通じて
住民の地域生活を守る

- ADSL（メタル）回線の例にみられるように、他社設備に依存している場合は、サービスの自由度を向上させ、持続的に提供していくことに限界がある。
- **無線も含め持続可能な自前設備に立脚すること**で、社会と地域を守るというCATV業界の使命を果たすとともに、激化する競争環境において優位性を発揮する。

CATVにおける各事業の融合展開により
強力なインフラ・サービスを提供する

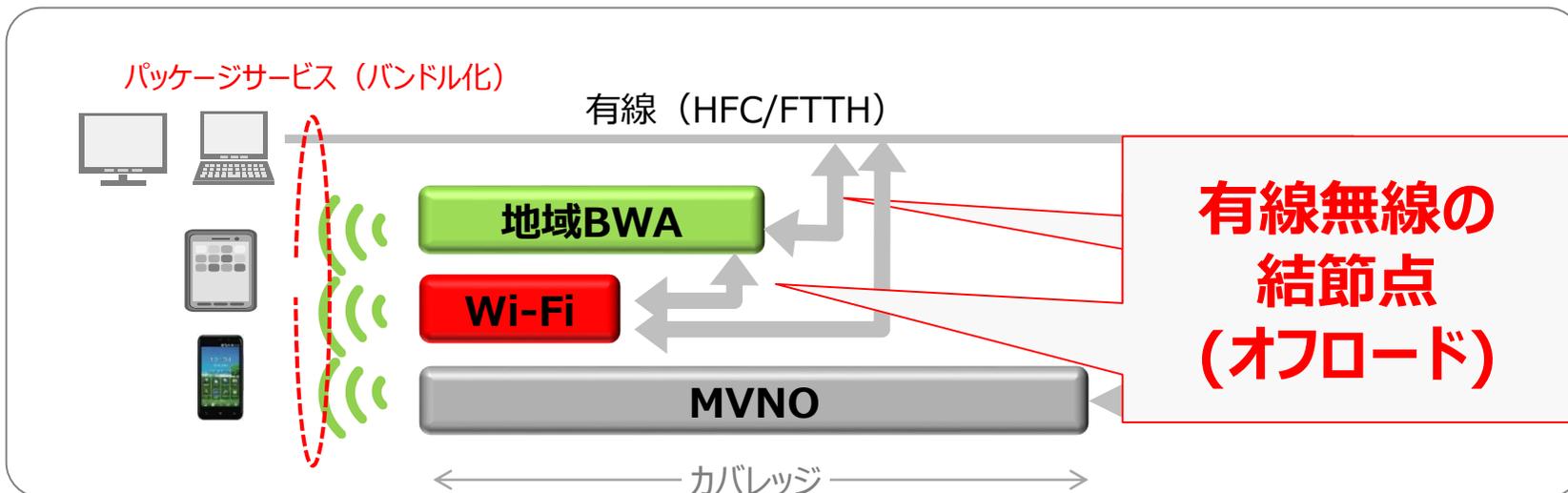
- 各無線事業に取り組み、ケーブルテレビ構想戦略及び有線戦略と一体的に推進することで、**相互に補完・融合させる**とともに、**地域連携によるCATV業界の強みを活かす**ことで、他社・業界が提供できない新たな価値を創出する。
- 顧客基盤を拡大させながら、共通的な設備や機能に着目し、投資効率を高めていく。

無線利活用戦略におけるWi-Fiの位置付け

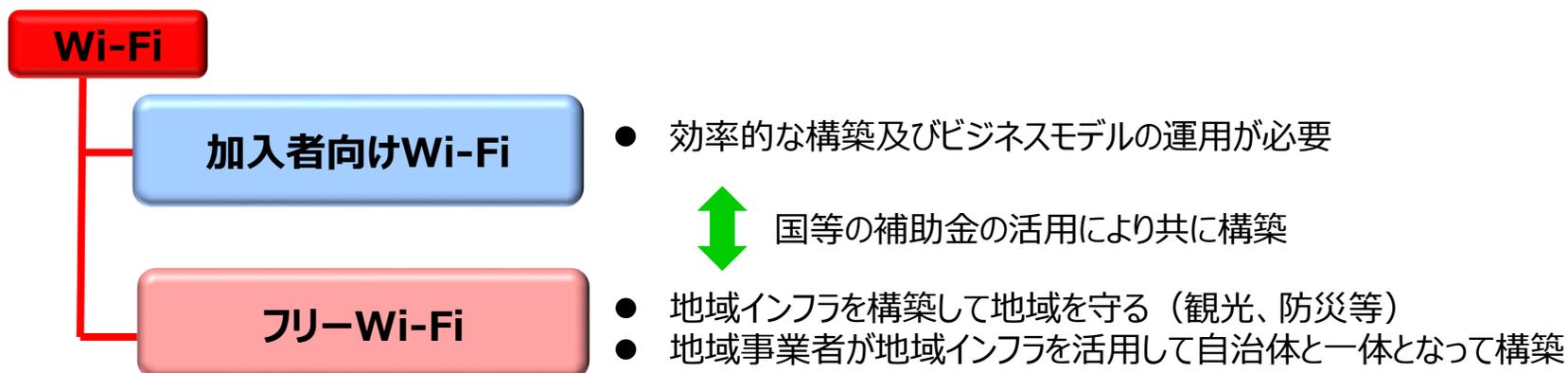
有線無線融合の地域社会インフラ構築において

- ①有線と無線の結節点となる地域BWA基地局とWi-Fiの基地局は極めて重要
- ②加入者向けWi-FiだけでなくフリーWi-Fiも積極的に構築推進

①



②



業界内外の異なる事業者間やSSID間で、お客様が、一回お客様登録すると再度のお客様登録を不要とし、お客様にとって使いやすいWi-Fiを提供

方針1（フリーWi-Fi）

<フリーWi-Fi間の認証連携>

- 自治体による認証方式の選択に対応できるように、複数の認証方式に対応できるように取り組む。
 - ① Web-API方式（総務省ガイドライン対応、認証団体との連携）
 - ② NTT-BP採用方式（同社14.5万APが対応）

方針2（加入者向けWi-Fi・業界内）

<業界内の認証連携(加入者向けWi-Fi間等)>

- ID連携基盤を活用し、Wi-Fiモジュールを構築する。
- 適切な認証連携方式を採用し、共通認証基盤を構築する。
- 上記の点を踏まえ、必要に応じてケーブルラボ 仕様を改定する。

方針3（加入者向けWi-Fi・業界外）

<業界外との認証連携>

- 業界外の加入者向けWi-Fiとの連携に向け、共通認証基盤（方針2参照）を活用して対応できるように取り組む。